

抱っこから始める ボランティア



毎週水曜に乳児院で抱っこしている河本さん

日本全国では約4万3000人、岡山市では200人以上(平成28年度)の子どもたちが、さまざまな理由で家族と暮らすことができず、施設で生活しています。施設の職員からは「本当は子どもをもっと抱っこしたい。人が足りない」という声も。そこで、そんな子ども

たちに、「抱っこで人の温かさを届けよう」と活動しているのが「ぐるーん」。サポーターと呼ばれる登録会員が、定期的に乳児院や児童養護施設を訪し、子どもたちを抱きしめたり、触れ合ったり、一緒に遊んだりする活動をしています。神奈川を本拠地として

平成23年にスタートし、現在は岡山が中心になって全国16県で活動。岡山県内では300人以上がサポーター登録し、約30人が近くの施設を訪んでいます。抱っこに行くには月に2回以上、1年以上の継続が要件。「最初は月に2回は難しいと言っていたのに、いざ始めると毎週通っているサポーターもいます。抱っこしに行っただけで自分が抱っこされた、もらうものの方が大きいと、皆さん口をそろえます。顔を見てハイしてくる子や、今度

いつ来るかと聞いてくる子もいますし、すぐわがままだった子が落ち着いてくるなど、子どもの様子にも良い変化が見られるんです」と代表理事の河本美津子さん(岡山市在住)は活動の意義を生き生きと伝えます。

一時里親という 関わり方もある

一方で、里親に対する理解を深めるための講座や座談会も開催し、里親普及活動も展開。「里親」というとすぐに養子と思われませんが、一時里親という関わり方もあること

を知ってほしい。一時里親とは、親元に戻らない子どもを、週末や長期休暇に家庭に迎えて、家庭生活を送る機会を提供すること。私自身、一時里親として関わっています」と河本さん。「施設で育った子どもに、家庭生活を体験させてほしい。その子が家庭を築く際のモデルになります」と続けます。

定期的なボランティアが難しい人は、単発のイベントに参加したり、得意分野やスキルを生かしたりなどの形で参加することも可能です。

【一般社団法人ぐるーん】

岡山市北区下伊福西町7-32-309
☎ 086(236)8955

◆活動内容

・乳児院や児童養護施設で親と離れて暮らす子どもと抱っこやスキップ遊びを通して触れ合う

◆活動までの流れ

サポーターに登録→地域リーダーと相談→施設面談→抱っこデビュー

いろいろな大人がいろいろな距離感で関わっていい。子どもは社会の宝物。社会全体で子どもたちを守っていかないと



河本美津子さん

